

# 枠付排水目皿

PBF-WM2-15 PBF-WM2-45 PBF-WM2-60





## 施工前に必ずお読みください

- 施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。  
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
- 「取扱説明書」は貴店名、据付年月日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。

## 安全のため必ずお読みください

- ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。  
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

### 用語および記号の説明

-  **注意** . . . 「取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
-  . . . . . 気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
-  . . . . . 行ってはいけない「禁止」の内容です。
-  . . . . . 必ず実行していただく「強制」の内容です。

### 注意

排水目皿は浴室の出入口や浴槽出入部など、頻繁に踏まれるような所へは設置しないでください。  
※**思わぬ破損やケガにつながる恐れ**があります。

目皿を立て掛けたり、工具の代りに使うなどしないでください。  
※**目皿が変形し、使用時のケガにつながる恐れ**があります。

2階以上の階に施工する場合は、必ず床の防水工事を行ってください。  
※**施工に不備があると、漏水により家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

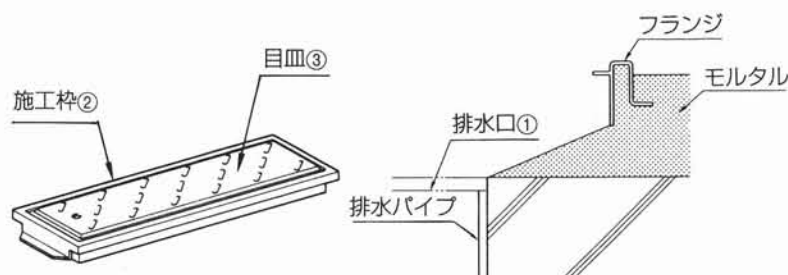
施工に使用する溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は容器等に記載の注意表示に従って、正しく使用してください。  
※**使い方を誤ると人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の劣化や損傷の原因**になることがあります。

## 施工上のご注意

1. 浴室の工事が完了するまで商品全体をダンボール等で保護してください。  
※表面にキズがつく恐れがあります。
2. 目皿は曲り易いものです。立て掛けたり踏みつけたりしないようにしてください。局部的に荷重のかかるようなこと（脚立をのせるなど）も避けてください。  
※変形することがあります。
3. モルタル・鉄粉等が付着した場合はすぐに取り除いてください。  
※変色・もらいサビの原因になります。
4. 排水目皿の埋め込みスペースは本体サイズより大きめにしてください。  
※壁などの仕上部が重なることがあります。
5. 埋め込み前の状態で目皿や枠に荷重や衝撃を加えないでください。  
※変形することがあります。
6. モルタル（セメント）硬化時は施工枠に目皿をセットしておいてください。  
※モルタルの収縮等で枠が変形し、目皿がはまらなくなることがあります。

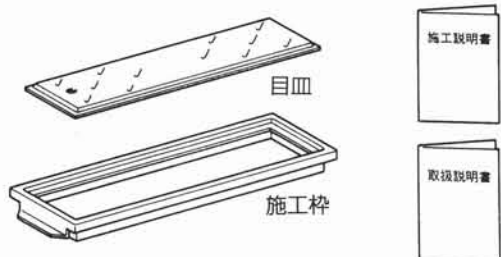
## 施工方法

1. 排水口①（床排水トラップ、目皿等：別途）を取り付け、土間コンクリート下地を打ってください。
2. 施工枠②を設置し、施工枠の外側にモルタルを流し込んでください。特にフランジ部内側へ十分に詰め込むようにしてください。  
同時に、排水口①に向けて水勾配をとってください。
3. 目皿③を施工枠②にのせてください。  
（目皿をのせるのは、モルタルによる施工枠の収縮防止用です。）

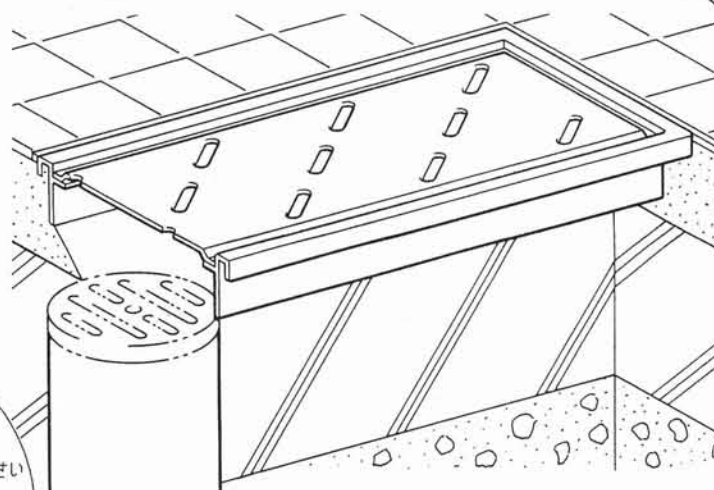
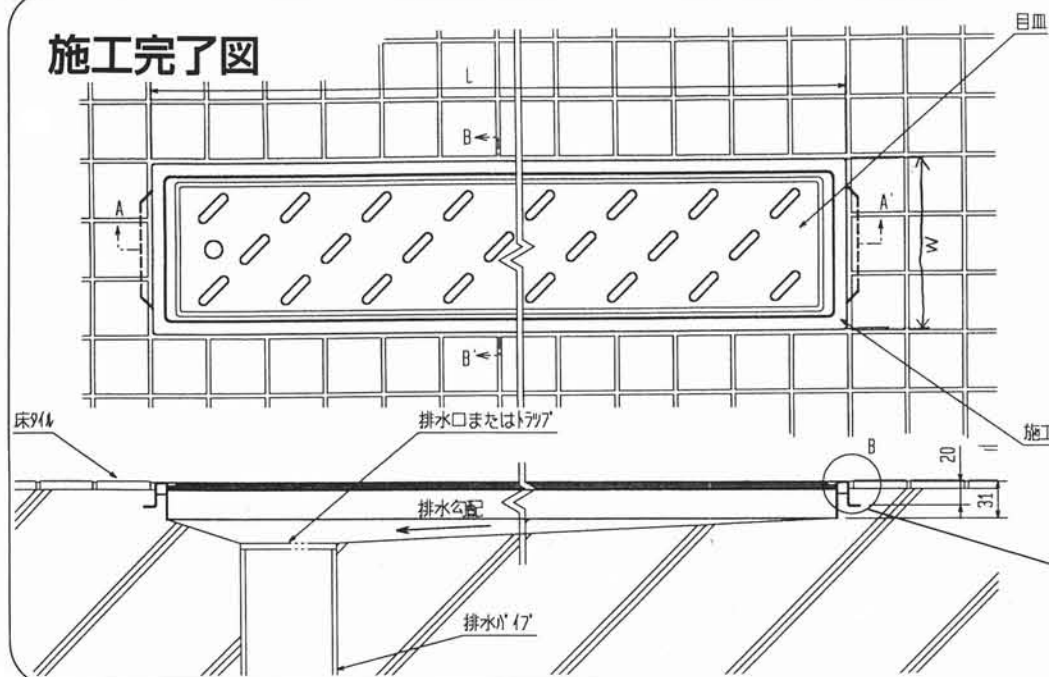


4. モルタルが固まったら、床タイル張りをしてください。  
（注）施工枠の上面が床タイル面より上にならないように施工してください。

## 部品の確認



## 施工完了図



品番	PBF-WM2-15	PBF-WM2-45	PBF-WM2-60
L	145	445	595
W	145	145	145